

イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と 情報モラル

Microsoft 365[®]・Office 2021 対応



Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

(1) 個人情報とは

2003年(平成15年)に**個人情報保護法**が制定され、その後改正されています。個人情報とは、組み合わせによって生存する個人を特定できる情報のことで、主なものに以下があります。

基本4情報	氏名、住所、生年月日、性別
家庭の状況	婚姻歴、家族・親族の関係、子供の有無
社会的状況	本籍、職業、職歴、学歴、資格(免許の有無など)、賞罰、学校や企業などでの評価、
経済状況	資産、収入、預金、納税額、銀行等の口座番号、クレジットカード番号、クレジットカード利用状況など
コンピューター関連	メールアドレス、ID、パスワードなど

基本4情報は日常の様々な場面で使用します。しかし、基本4情報であっても、本人に無断で公開することは許されません。さらに、人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴などの**要配慮個人情報**は、本人の同意なく、情報の取得や第三者への提供が禁じられています。また、個人番号を含む個人情報を**特定個人情報**といい、本人の同意があっても、利用目的を超えて利用してはならないと定められています。

人にはプライバシー権と呼ばれる権利があります。これは、私生活をみだりに公開されない権利です。私たちは、自分の個人情報をむやみに漏らさないように注意すると同時に、他人の個人情報も守るよう注意しなくてはなりません。

(2) 個人情報漏えいによるトラブル

個人情報が漏れたことによるトラブルには、主に以下のものがあります。

- ・メールアドレスや電話番号を公開され、迷惑メール、迷惑電話などが増える
- ・クレジットカード番号を他人に利用され、身に覚えのない請求書が届く
- ・IDとパスワードを他人に利用され、注文していない商品と請求書が届く
- ・IDとパスワードを他人に利用され、メールを読まれる
- ・写真や住所が公開され、ストーカーにつきまとわれる
- ・住所や氏名が公開され、身に覚えのない非難を浴びせられる
- ・思想、宗教などを理由として、一方的に誹謗中傷される

インターネットを利用すると、常に個人情報が漏れる危険性があります。インターネットを利用するときは、個人情報が漏れないようにコンピューターを設定する、漏らさないように常に注意する心がまえが必要です。

(3) 個人情報の漏えい対策

1) 技術的対策

個人情報が漏れないようにするには、インターネットでホームページに入力した情報を記録させないようにすることが必要です。これにはCookieの制限や削除、ブラウザのオートコンプリート機能の解除などが有効です(P.260参照)。

2) 心がまえ

インターネットを利用中、もしくはメールで安易に個人情報を記入してはいけません。また、インターネットを利用するときだけ個人情報を出さないようにしても、学校や企業などの名簿、懸賞への応募、店舗の会員登録などから個人情報が漏れる恐れがあります。

インターネットで個人情報を記入するときは、以下の点に注意しましょう。

- ・ ネットカフェなど自分が管理できないパソコンからは入力しない
 - ・ 自宅外のパブリックネットワークに接続している場合は入力しない
 - ・ メールアドレスをむやみに書き込まない
- 公開するメールアドレスが必要な場合は、別途取得して使い分けましょう。

- ・ 信用できない Web ページや企業に個人情報を提供しない

Web ページなどが信用できるかできないかの判断には以下の目安があります。

Web ページなどにプライバシーポリシーが明記されているか？

Web ページなどに以下の目安となるマークが表示されているか？

プライバシーポリシー
企業や団体などの組織における個人情報の取り扱いに関する規則や配慮を示すもの。

マーク	認定者	備考
	一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC)	個人情報の取り扱いについて JIS 規格 (JISQ15001) に適合していることを審査する ※マークの下に書かれた数字は事業者の登録番号 (サンプル) です。
	一般社団法人日本プライバシー認証機構 (JPAC)	オンライン、ネットワーク上での個人情報保護の開示・自己管理を審査し、認証する

また、社員がノートパソコンなどの携帯型パソコンを持って車に乗り、買い物や休憩で車から離れた短い間に盗まれてしまう例があります。このため、企業などの組織ではパソコンやデータの持ち出しについてのルールを定めたり、許可制にしたりしているところもあります。技術的な対策だけでなく、「個人情報＝重要な情報を扱っている」という意識を持って、常に用心する心がまえが必要です。

練習 29

I. 以下の文章を読み、適切なものには○を、不適切なものには×を記入しましょう。

①個人情報を保護するための法律はない。	
②入力したパスワードなどをパソコンに記憶させないように設定することも、個人情報漏えいを防ぐひとつの防御策である。	
③同窓生の住所と電話番号を尋ねる電話がかかってきたので、相手に確認してからかけなおすと伝えて電話番号を聞いた。	
④ホームページに 100 万円が当たるとあったので、すぐ応募を決め、氏名や住所、電話番号などを記入した。	
⑤有名企業のホームページなら個人情報が漏れることはないので、個人情報を入力しても絶対問題は起こらない。	

Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

(1) 自分を守るために

1) 犯罪から身を守る

インターネット上には楽をして大もうけする、高額の商品を安く手に入れるなどの情報があふれていますが、その大部分は信用できない情報です。また、有料コンテンツの閲覧代金と称する架空請求、ネットオークション詐欺、ねずみ講などによって、さまざまな被害が出ています。インターネットでやり取りされる情報には、悪意のあるうそ、作り話、不確実な情報がたくさん含まれています。常に「これは本当か?」「信用できるか?」と疑問を持ち、確認する姿勢が犯罪やトラブルから身を守ります。

ねずみ講

製品を売買することなく、先に加入した人が、後から加入した人から金品を受け取るシステム。違法行為であり、単に加入を勧誘しただけでも処罰の対象となる。

ワンポイント!

★スパムメールへの対処法は?

スパムメールとは、迷惑メールのことで、受信者が希望していないにも関わらず何度も送られてくるメールのことです。特に問題なのは、悪質なスパムメールです。アダルトサイトからのメールやねずみ講に勧誘するメール、簡単にもうかる商売を紹介するメールなどがあります。これらには決して返信したり電話をかけたりしてはいけません。

最近よくあるのが、アダルトサイトを閲覧した代金を振り込むよう促すメールです。誰にも相談できずに支払ってしまうケースがよくあります。このような架空請求にだまされないようにするには、日ごろから有害サイトは見ない姿勢も大切です。

★インターネットトラブルへの対処方法は?

インターネットを利用した詐欺や悪徳商法の手口は、日々進化しています。ニュースや新聞の情報に注意し、被害にあわないようにしましょう。また、不審に思ったり、被害にあったりしてしまったら、警察や消費者センターに相談しましょう。

警察庁では、インターネットトラブルの対処法などを公開しています。

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/sodan/nettrouble/index.html>

2) 体と心の健康を守る

ネットサーフィンやゲームなどパソコンやスマートフォンを長時間使う生活を続けていると、健康を害したり日常生活に支障をきたしたりすることがあります。また、興味本位に刺激的な情報をあさっているうちにモラルが欠如してしまうこともあります。身体の健康や健全な精神を守り養うために以下の点に注意しましょう。

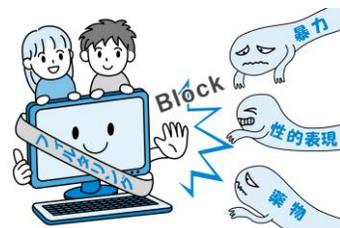
◆テクノ依存症の兆候がないかチェックする

日常生活に支障をきたすほど精神的にインターネットやスマートフォン、パソコンに依存している状態は、**ネット依存症**、**スマートフォン依存症**、**テクノ依存症**などと呼ばれます（正式な病名ではありません）。スマートフォンやパソコンを使いすぎると、対人関係がおっくうになる、他人に対する思いやりがなくなる、などとも言われています。以下の兆候がないかときどきチェックし、あてはまる項目があれば、自分の行動を考え直してみましょう。

朝起きると、何よりも先にスマートフォンの通知をチェックする	
ネットサーフィンやチャットで夜更かしし、翌日の授業や仕事に遅刻したことがある	
家族や友人と話すより、インターネットの談話室や SNS でのやり取りのほうが気楽である	
やらなければならないことをせずにスマートフォンやパソコンを使うことがある	
家族や友人から「スマートフォンやパソコンの使いすぎ」を指摘されたことがある	
もうやめようと思いつつも、パソコンを使い続けることがある	

◆有害情報を制限する

有害情報（出会い系サイト、アダルトサイト、違法商品（武器や薬物など）を売買するサイト、暴力的または残酷な表現のあるサイトなど）を見てはいけません。Windows のファミリーセーフティ機能、フィルタリングソフトなどを利用しましょう。プロバイダーによってはフィルタリングサービスのあるところもあります。特に未成年者と共有する家庭用のパソコンは、フィルタリング設定をしましょう。



Windows8 以降には、「ファミリーセーフティ」という機能が搭載されています。これは、特定のユーザーアカウントに対して、閲覧できる Web サイトやパソコンを起動できる時間帯、使用できるソフトなどを制限する機能です。

（2）ネチケツト

ネチケツトとはネットワークにおけるエチケツトのことです。匿名であることはトラブルを拡大しやすく、人間関係をこじらせる原因となります。また、メールは文字だけで用件を伝えるため、相手の感情を害するなど意図しない結果になることがよくあります。普段の生活以上にマナーを守り、自分の行動の結果を予測し、トラブルを防ぐ心得を身に付けなくてはなりません。

